

編集後記

最近、と言っても、1年ちょっと前から囲碁をやっている。子どもが近所の公民館のようなところで習い始めたのを横目に自分でも見よう見まねで始めた。時間が無いという言い訳をするわけではないが、完全に子どもには水を開けられ、息子は初段間近、こちらは永遠に十級の壁が越えられそうにない。あの白と黒の石しかないのに、どうもうまくいかない。

「それでは」と、子どもに内緒で、本を買って勉強する。本屋に行き「これで、初段になれる」などとタイトルに書いてある本を買って読んでみるが、一向に身に付かない。当然である。基礎がなっていないから、意味が理解できない。それで、「五級をめざす」、「十級をめざす」、「十五級をめざす」と後ろ向きに買い足していく結果となる。大学の講義では、「基礎は大切です。一步一步の積み上げです」と偉そうに言っている本人がである。

考えてみれば、プラズマも多数の電子とイオンが主役である。どちらが、白で黒と言うわけでもないが、とにかく

こいつらが、主役である。時々、外から電磁波やビームなどという外乱を与えたりもするが、何はともあれ、これらの役者を中心に回っている。なかなか思いどおりにいかないことも囲碁もプラズマも同じである。特にプラズマは、集団のなせる技なのか、束になってかかってこられると、どうにもならなくなってしまふ。石を粒子と見ているからダメで、流体として見たら解析できるのかとか考えてしまふ。

ある人が言ってきた。「囲碁の石は動かないが、プラズマの粒子は動き回るでしょ？ それに、囲碁は $19 \times 19 = 361$ の場所しかないけど、プラズマは、もっと粒子があるでしょ、それを研究しているんだから、すごいですよね？」と。慰めかも知れないが、本業のプラズマの方にも振り回されているのだ。

いつまでたっても、プラズマも囲碁も征服できないんだらうなと思ひながら、今夜も囲碁の本を読んでいる

(湯上 登)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦	藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	榎戸 武揚 (広報委員長)	岡野 邦彦	尾崎 章 (財務委員長)	田中 和夫 (プログラム委員長)		
	際本 泰士	佐藤浩之助	田中 和夫 (プログラム委員長)	永見 正幸		
	田辺 哲朗	長 照二 (出版委員長)	永見 正幸	堀岡 一彦 (広告委員長)		
	二宮 博正	畠山 力三	堀岡 一彦 (広告委員長)			
	松岡 啓介 (企画委員長)	吉田 善章 (編集委員長)				
監 事	長谷川 満	藤山 寛				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (原研), 田中雅慶 (核融合研), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)

編集委員 相澤正満 (日大量科研), 安藤利得 (金沢大院理), 井深真治 (東工大院理工), 岩前 敦 (京大院工), 江角直道 (長野高専), 遠藤琢磨 (広大院工), 粕谷俊郎 (同志社大工), 菅野龍太郎 (核融合研), 近藤公伯 (阪大院工), 榊田 創 (産総研), 篠原俊二郎 (九大院総理工), 清水勝宏 (原研那珂), 下妻 隆 (核融合研), 鈴木 哲 (原研那珂), 鈴木千尋 (核融合研), 高杉恵一 (日大量科研), 力石浩孝 (核融合研), 波多江仰紀 (原研那珂), 服部邦彦 (東大院工), 林 康明 (京都工繊大), 檜垣浩之 (筑波大プラズマ), 松本和憲 (富山県大工), 南 貴司 (核融合研), 村上定義 (京大院工), 森下和功 (京大エネ理工研), 山本 靖 (京大エネ理工研), 湯上 登 (宇都宮大院工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第81巻第5号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/>

印刷 株式会社荒川印刷

2005年(平成17年)5月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。